



東國名勝志  
二

ル 3  
3659  
2



下村五郎次郎

武士の矢や  
小ものさよ  
あはれなる

殺生石

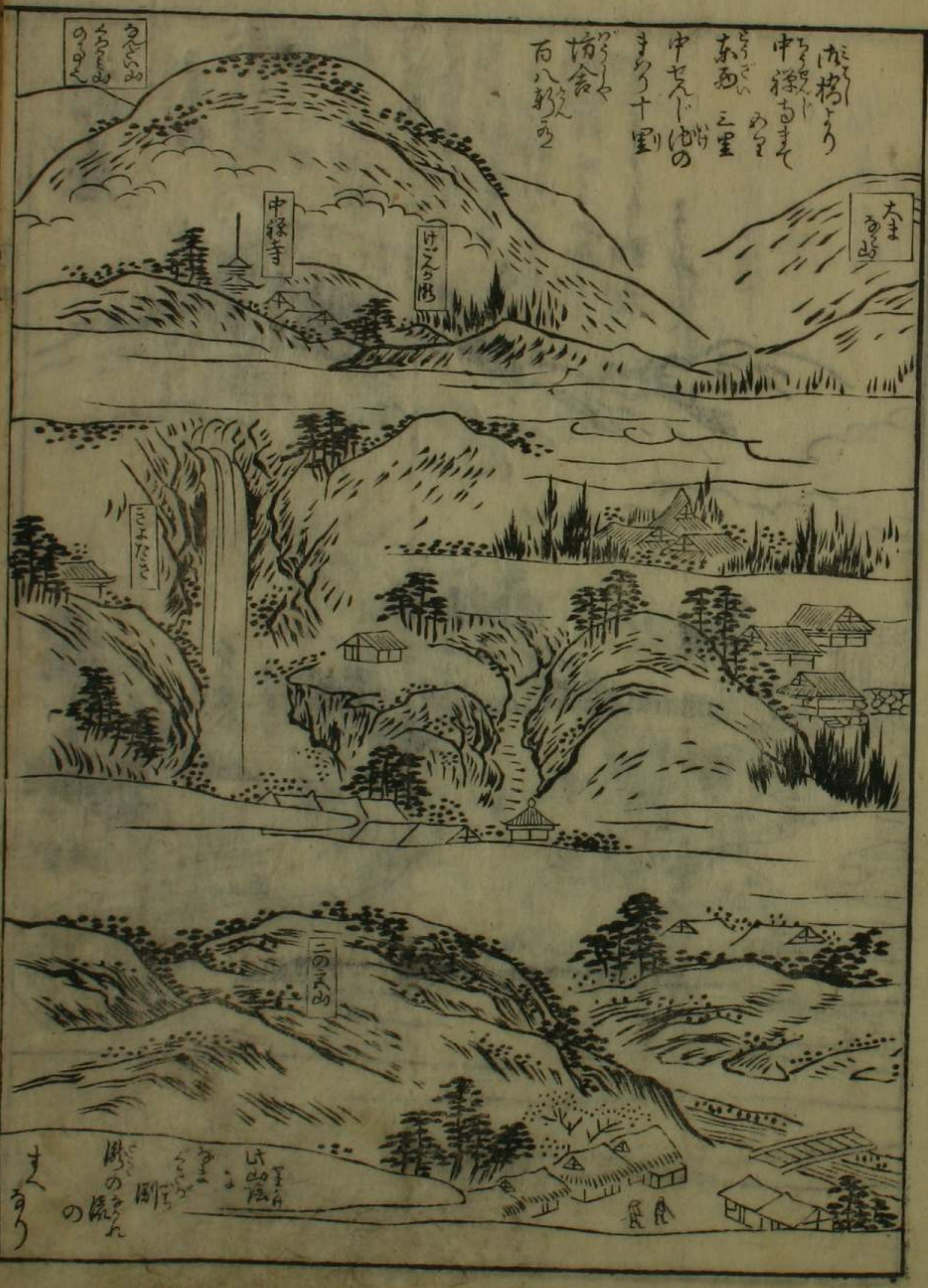
むらさきの  
あけぞくは  
三浦介と  
おしへ化生を  
命とせども  
ふとりの

〇カ丁

京

門ル子  
號3659  
卷 2

都司



鶴巻

栗橋

月夜平野

東伝の時

鶴巻川の風

そよ風

はらの露に

そよにむろて

そよ感あつて

此山成りて

習しり



勝麻の浦

かひくや

むしれすの

継橋

いづれ

あはれ

鷹橋

あはれ

あはれ

仲津風

あはれ

あはれ





品川



まねま  
品川  
世伝  
りくすし

むらさき

品川の舟



品川の舟  
品川の舟  
品川の舟

入間川

入る云々

さうせいのことさう  
すうのたさうと  
たさうのたさうと  
入るのたさうのたさう  
たさうのたさうのたさう

さうとさう

そのむの  
乃を

入る

入る

入る



見よ

我々に

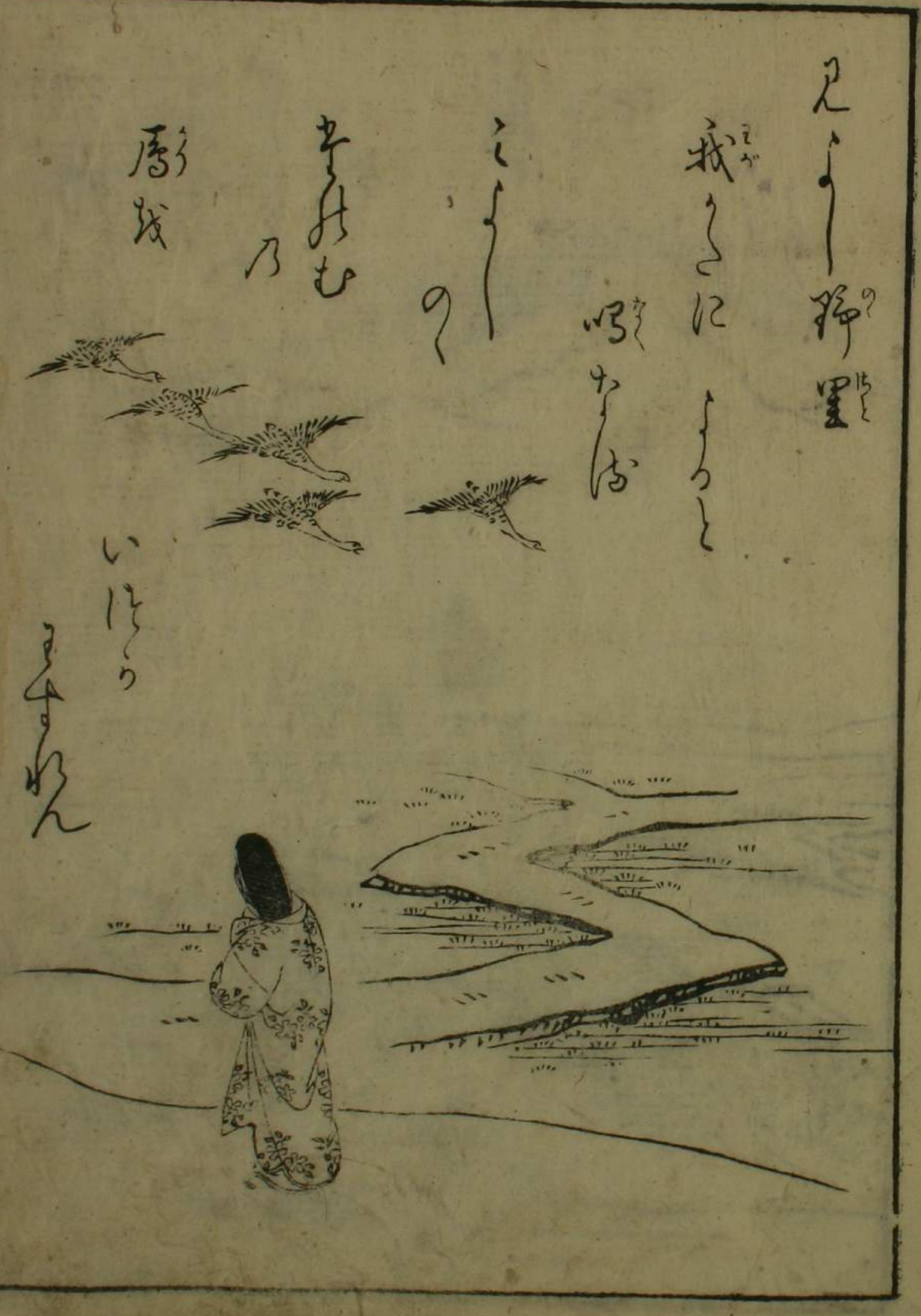
鳴かば

こゝろ

そなた

乃

厚



いほり

そなた



かいま  
 かんたんの地  
 人  
 其  
 人



川  
 宿  
 二  
 大  
 水  
 山



合川  
芒花蘭

白浪乃

あかねの

磯松

かきね

人ぞ

つぎ



かきね

け宿の町

たけし海

むらたの

小島

人宛

新田

入

里人





八十八ヶ所

山林の山山  
天形を建く



徳金

天柱

万代

かみくし

鳥

鳥の石馬水

鳥を征伐の時丹羽の羽あつて印をふ  
る鳥と知れしをふるとと由の字  
建いま下のろえとよは後と原の物

白乃嶋

白乃嶋

白乃嶋

白乃嶋

白乃嶋

白乃嶋の島にありて此の島あり  
其の島にありて此の島あり  
其の島にありて此の島あり  
其の島にありて此の島あり  
其の島にありて此の島あり



唐土ヶ原

唐土ヶ原

唐土ヶ原

唐土ヶ原

唐土ヶ原

十間坂とやあか

十間坂とやあか

十間坂とやあか

十間坂とやあか

十間坂とやあか

十間坂とやあか





鴨之川

大磯小磯の石松糸の  
申立馬御所より東  
にあり鴨之川

素つゝ守る寺あり

心もたれ春もあはれ

とれり

鴨之川

秋の夕ぐせ

水あふはわくは木敷の  
死木もとの石松もつゝ  
かなども好む人きん



附舎

西行法師の石松の  
れり葉はわくは木敷の  
れり葉はわくは木敷の

その石松もつゝ

名秋の夕ぐせ

いづれ春のあはれ

あはれ

秋の夕ぐせ

鴨之川

むし



相模府中 日新の馬場

小栗新五郎の巻物と  
せりし布のひつり

小栗のりまはすく  
こころぬぐは 新五郎に小栗  
新五郎十人の隊とせり



都立美術館

